

水滸伝(仮)

命を懸けて、立ち上がる漢たちの物語

<巻頭特集> WOWOW × Lemino 連続ドラマ「北方謙三 水滸伝」

インタビュー: 北方謙三氏(原作)、織田裕二氏(宋江役)など

2026年2月15日より放送及び配信がスタートする連続ドラマ「北方謙三 水滸伝」を大紹介。

シリーズ累計発行部数1,160万部を超える北方謙三の大河小説『水滸伝』が待望の完全映像化。世の理不尽に抗い、立ち上がった名もなき漢たちの熱き生きざま。原作者及び出演者、脚本家などへのインタビュー、また多岐にわたる登場事物紹介などドラマの副読本にもなるよう丁寧に構成したい。

◎北方謙三『水滸伝』とは?

1999年から2005年にかけて「小説すばる」に連載された歴史小説。一大ブームを巻き起こし、「北方水滸」は今も熱いファンが多い。「水滸伝」「楊令伝」「岳飛伝」の三部作からなる大水滸伝の第一部である。

<大特集> 四大奇書『水滸伝』を読み解く

中国明代に書かれた長編小説。舞台は北宋末期、汚職や不正がはびこり、権力が腐敗するなか、108人の好漢たちが梁山泊と呼ばれる自然の要塞に集い、戦いを繰り広げる物語である。日本では江戸時代頃に受容され、なかでも戯作者・曲亭馬琴は愛読者として知られ、その影響は『南総里見八犬伝』にも見られる。水滸伝の歴史や内容、派生作品、あるいは日本における二次創作での展開など、水滸伝の魅力を総覧したい。

<特集2> 東洋の文学・美術に触れる 東洋文庫と静嘉堂文庫

東京都文京区にある東洋文庫は、東洋学の専門図書館、研究所、ミュージアムとして知られる。貴重な歴史書や文献の展示を楽しみながら、知の宝庫に触れてみよう。また、もう一つ同じく国立国会図書館の支部図書館であった静嘉堂文庫も日本及び東洋の古典籍を収蔵する専門図書館。静嘉堂文庫美術館では収蔵美術品を一般公開しており、こちらはとくに国宝「曜変天目茶碗」や俵屋宗達の「源氏物語関屋及澤標」などで知られる。

<コラム>

- ・東洋美術に触れられる日本の美術館・博物館
- ・108星名鑑、名場面で味わう義のドラマ
- ・現代カルチャーと「水滸伝」など



※特集内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

スペース	掲載料金	サイズ
表4	1,800,000 (税込1,980,000)	269×200 (天地mm×左右mm)
表2(1P)	1,500,000 (税込1,650,000)	285×210 (天地mm×左右mm)
表3	1,400,000 (税込1,540,000)	285×210 (天地mm×左右mm)
目次対向	1,300,000 (税込1,430,000)	285×210 (天地mm×左右mm)
4C1P	1,100,000 (税込1,210,000)	285×210 (天地mm×左右mm)

- 発売日 : 2026年1月26日(月)
 ■発行形態 : 中綴じ／右開き
 ■判型 : 120Pフルカラー、A4変型
 ■定価 : 1280円(税込)
 ■発行発売 : 株式会社三栄
 ■オーダー : 2025年12月26日(金)
 ■校了 : 2026年1月9日(金)
 全国書店及びコンビニで発売

【お問い合わせ】株式会社三栄 第二営業企画局 Mail: koukoku@san-ei-corp.co.jp

～この企画に関するより詳しい内容・不明点は各担当者にご連絡下さい。～